

2 富士山、日本の世界文化遺産候補に選定さる! (静岡県からのお知らせ)

私たち県民の誇りであり、国の宝である富士山が、全国から提案のあった24件の中から選ばれ、政府によって正式に将来の我が国の世界文化遺産候補の一つに決定しました。

今回は、文化庁での審議結果をご紹介します。(以下は、平成19年1月23日付け「世界文化遺産特別委員会における調査・審議の結果について」(文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会)の抜粋です。)

富士山

静岡県／富士宮市・富士市・御殿場市・裾野市・小山町・三島市・清水町・静岡市
山梨県／富士吉田市・身延町・西桂町・忍野村・山中湖村・鳴沢村・富士河口湖町

富士山は標高3,776mの極めて秀麗な山容を持つ円錐成層火山で、南面の裾野は駿河湾の海浜にまで及び、山体の海面からの実質的な高さは世界的にも有数である。古くから噴火を繰り返したことから、霊山として多くの人々に畏敬され、日本を代表し象徴する「名山」として親しまれてきた。

山を遥拝する山麓に社殿が建てられ、後に富士山本宮浅間大社や北口本宮富士浅間神社が成立した。平安時代から中世にかけては修験の道場として繁栄したが、近世には江戸とその近郊に富士講が組織され、多くの民衆が富士禅定を目的として大規模な登拝活動を展開した。このような日本独特の山岳民衆信仰に基づく登山の様式は現在でも命脈を保っており、特に夏季を中心として訪れる多くの登山客とともに、富士登山の特徴をなしている。



また、『一遍聖絵』をはじめ、葛飾北斎による『富嶽三十六景』など多くの絵画作品に描かれたほか、『万葉集』や『古今和歌集』などにも富士山を詠った多くの和歌が残されている。

このように、富士山は一国の文化の基層を成す「名山」として世界的に著名であり、日本の最高峰を誇る秀麗な成層火山であるのみならず、信仰と芸術・文学の諸活動に関連する文化的景観として、顕著な普遍的価値を持つ可能性は高い。

また、本資産は、日本の世界文化遺産及び日本の世界遺産暫定一覧表に記載された文化資産には未だ見られない分野の文化資産である。

したがって、我が国の世界遺産暫定一覧表に記載することが適当と判断される。

【参考：富士山の他に世界文化遺産候補として選定された文化資産】

○富岡製糸場と絹産業遺産群

群馬県／沼田市・藤岡市・富岡市・安中市・下仁田町・甘楽町・中之条町・六合村

○飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群

奈良県／明日香村・桜井市・橿原市

○長崎の教会群とキリスト教関連遺産

長崎県／長崎市・佐世保市・平戸市・五島市・南島原市・小値賀町・新上五島町

